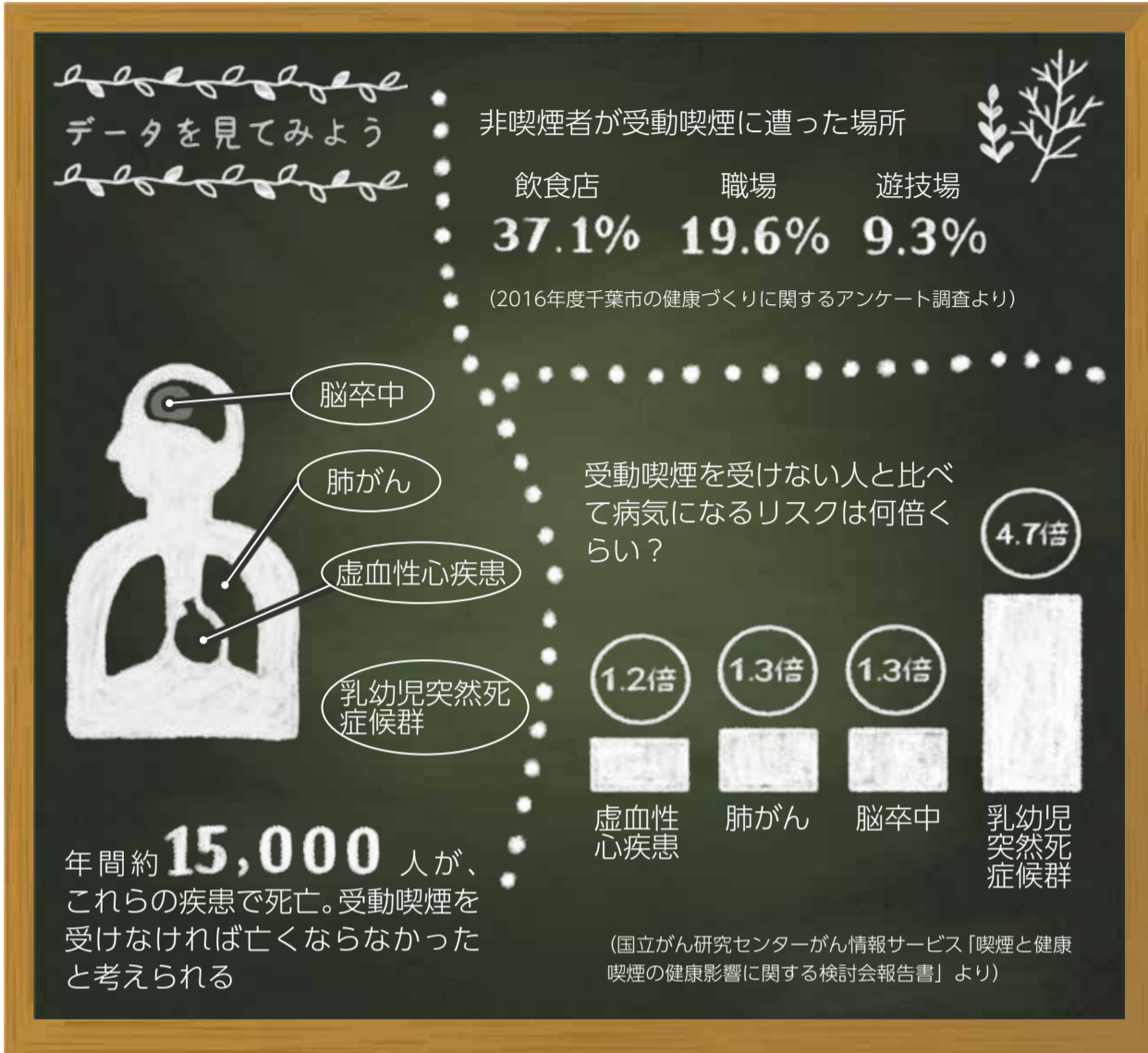
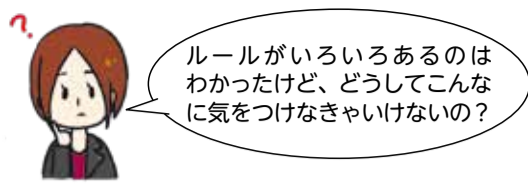


どうしてルールが必要なの？



受動喫煙による健康被害は大きい

たばこの煙には、約5,300種類の化学物質が含まれていることがわかっており、そのうちの約70種類は発がん性物質です。

さらに、受動喫煙の主な原因となる副流煙(たばこの先から出る煙)には、喫煙者がフィルターを通して吸い込む主流煙よりも、有害物質が多量に含まれていることがわかっています。

どうして屋内の対策が重要なのか？

たばこの煙は屋外では拡散しますが、屋内ではそのまま滞留してしまいます。

中にいる人は、たばこの煙に含まれる高濃度の有害物質に長時間さらされることになり、健康への悪影響がより大きくなります。

受動喫煙は、その場にいる非喫煙者だけでなく、喫煙者にも生じている問題であり、深刻な健康被害を防止するため、屋内の対策が重要です。



日本の取り組みって、世界から見たらどうなの？

WHO（世界保健機関）は、医療機関や学校など8種類の場所*で屋内禁煙義務の法律があるか調査し、評価しています。健康増進法が改正されたことにより、日本の評価は1段階上がりました。

しかし、世界の多くの国では、公衆の集まる場所として、飲食店や事業所などでも例外のない屋内全面禁煙としており、日本の受動喫煙対策はまだ遅れているのが現状です。

屋内禁煙義務の法律がある国の数

禁煙場所の数	国数	代表的な国
8種類	55	英国、カナダ、ロシアなど
6～7種類	23	ポルトガル、インドなど
3～5種類	47	ポーランド、韓国など
0～2種類	61	日本、ドイツ、など

法改正により、1ランクUP

*WHOが調査する公衆の集まる8種類の場所
医療施設 大学以外の学校 大学 行政機関
事業所 飲食店 バー 公共交通機関
(WHO report on the global tobacco epidemic. 2017 より)



そのほか、注意するポイントはコチラ！

ためになるなあ

Menu

集合住宅についてはどうなるの？

居住部分………規制の対象外です
居住部分以外………多くの人を利用するため、原則屋内禁煙です

加熱式たばこと電子たばこは対象なの？

加熱式たばこ………たばこの葉を燃焼させずに加熱して発生した蒸気を吸うもので、規制の対象です
電子たばこ………たばこの葉を使わず、リキッドを加熱して発生した蒸気を吸うもので、規制の対象外です

路上喫煙をなくすために

たばこの火から歩行者などの身体および財産の安全を確保し、美しい街づくりを推進するため、路上喫煙・ポイ捨て防止条例を制定し、JR千葉駅東口・稲毛駅周辺・海浜幕張駅周辺・蘇我駅周辺を路上喫煙等・ポイ捨て取締り地区と定め、違反者からはその場で過料2,000円を徴収しています。

新たな喫煙に関するルールは、タバコを吸う人も吸わない人も、受動喫煙から守るために設けられました。

受動喫煙による健康被害は決して小さいものではありません。皆さんも、受動喫煙のない社会を目指すため、一緒に新たなルールに取り組みましょう。

詳しくは、[千葉市 受動喫煙対策](#)